



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2008.3

No. 287

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



仕事の前に、ちょこっとBW

山部 直喜（三郷市）

ここ数年、余裕がなくてなかなか探鳥会に出席できない。探鳥地にも行けない。でも野鳥を見たい。そこで、自宅から勤務先までの往復で、仕事前に月に平均して2度ほど、1回15分程度、その季節の気になる場所に車を止め、鳥見を楽しんでいます。今月号はその記録です。

○ まずは、近所で

駐車場に向かう途中、今日もベンチのEさんに挨拶。膝を痛めているEさんは、夜明け頃からベンチに座り、朝のひと時、身近な野鳥の撮影を楽しんでいる。10階以上の集合住宅地ではあるが、渡りの時期にはキビタキ、オオルリ、エゾビタキも立ち寄りやすく、そんな時は、私を待って情報を提供してくれる。次の朝は、15分早く駐車場に向かう。

この号が出る3月は新三郷駅の跨線橋（地図参照④）が最も気になる。ここは10年以上、チョウゲンボウが繁殖しており、5月の巣立ちまで目が離せない。時にはシラコバトにも会える。



11月頃から3月頃までは吉川駅南側の跨線橋の西にある調整池④が気にかかる。オカヨシガモやミコアイサが入ることがある。カモ類を狙ってオオタカも来る。ベニマシコの声もよく聞く。セイタカシギ10羽が2ヶ月ほど居着いたときは土・日も通った。

この調整池の背面のフェンスで囲まれた草地も油断できない。タゲリやムナグロが越冬しているからだ。

○ 途中で

江戸川に近く、松伏町と旧庄和町（現春日部市）の境目あたりに斜面林⑤がのびている。森林性の野鳥が中心で、カワセミやキセキ

斜面林⑤



レイも安定して確認できる。アオゲラ、アカゲラ、ルリビタキ、ツミ、オオタカを確認できた時は、「ちょこっとBW」も5分の延長を許している。週末、家人には「仕事に行ってくる。月曜からの仕事を立て込んでいる」と言い置いて、さらなる確認を怠らない。

通勤路で年間を通して楽しいのは、旧庄和町の飯沼地区の田んぼ⑥である。

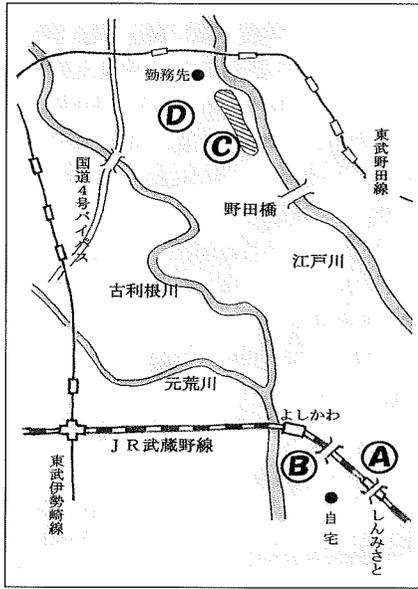
水を入れる時期とシギ・チドリなどの渡りの時期が一致していて、ムナグロどっさり、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、キアシシギも揃いぶみ。いろんな小動物も活動を始め、それがサギたちを呼び寄せる。野鳥ではないが、ホウネンエビ、カブトエビ、コイの遡上も楽しみだ。とにかく、水が入ると田んぼは生命のワンダーランドだ。

4月末から初夏にかけては、いわゆる白鷺たちの婚姻色を見逃さない。冬羽とはまったく違う艶やかさ、生命の輝きだ。

オオヨシキリの仰々しい声やカッコウの声を聞くと、仕事先に向かう車の中で『夏は来ぬ♪』が自然と口に出てくる。

稲刈りの頃は最も鳥の数が多し。稲刈りで飛び出てくる昆虫を狙って、ツバメ、ムクドリ、白鷺（特にアマサギ、チュウサギ）が集まって来てとかくにぎやかである。

11月に入るとタゲリが渡って来る。30羽から40羽の群れが3つか4つほど来る。年を越



える頃から、10羽程度になって越冬している。日の出頃、霜柱の田んぼの中のわずかな窪地で眠っている。

ムナグロも、この地で長く観察している方の話によると3、4年前から越冬している由。

○ 楽しいこと、ありがたいこと、及び蛇足

観察中の楽しみの一つにその地域の人との会話がある。「何か見えるんですか」から始まって、「あそこの杭の上にミミズクがとまっていることがあるなあ」「タカがハトを捕まえてなあ、あの林の中に入った」等の話が出るとこれも5分延長である。

このような地域との繋がりは、野鳥以外のことで感謝にかわる時がある。思わぬ時に思わぬ場所で「ああ、あなたはあの時の」ということで話がスムーズに進み、大いに仕事上の協力をいただいたり、問題が問題でなくなったりした事は1度や2度ではない。

右のリストは、背広で革靴、車から10mも離れない観察の記録ではある。しかしリストを作成してみて、A、B、C、D地点は、まさに私にとってのIBA (Important Bird Area) である事を痛感している。

なお、蛇足ではあるが、定刻の45分前には仕事を始めており、「ちょこっとBW」は職場の誰からも気づかれてはいない。

No.	確認できた野鳥たち	その時の心理状態				
		平常	よし	よよし	お!	お! ×3
1	カイツブリ		○			
2	カワウ	○				
3	ゴイサギ		○			
4	アマサギ			○		
5	ダイサギ			○		
6	チュウサギ			○		
7	コサギ		○			
8	アオサギ			○		
9	コハクチョウ					○
10	マガモ			○		
11	カルガモ		○			
12	コガモ			○		
13	オカヨシガモ				○	
14	ヒドリガモ		○			
15	オナガガモ		○			
16	ハシビロガモ			○		
17	ホシハジロ			○		
18	キンクロハジロ			○		
19	ミコアイサ				○	
20	オオタカ				○	
21	ツミ					○
22	チョウゲンボウ			○		
23	コジュケイ			○		
24	キジ			○		
25	バン			○		
26	オオバン			○		
27	コチドリ			○		
28	イカルチドリ				○	
29	ムナグロ				○	
30	タゲリ				○	
31	キョウジョシギ				○	
32	アオアシシギ				○	
33	クサシギ				○	
34	タカブシギ				○	
35	キアシシギ				○	
36	イソシギ			○		
37	チュウシャクシギ				○	
38	タシギ			○		
39	セイタカシギ					○
40	ユリカモメ		○			
41	セグロカモメ			○		
42	コアジサシ			○		
43	シラコバト				○	
44	キジバト	○				
45	カッコウ				○	
46	ホトトギス					○
47	コミミズク					○
48	アオバズク					○
49	カワセミ				○	
50	アオゲラ				○	
51	アカゲラ				○	
52	コゲラ			○		
53	ヒバリ		○			
54	ツバメ		○			
55	キセキレイ				○	
56	ハクセキレイ		○			
57	セグロセキレイ				○	
58	タヒバリ			○		
59	ヒヨドリ	○				
60	モズ			○		
61	ルリビタキ					○
62	ジョウビタキ			○		
63	ノビタキ				○	
64	イソヒヨドリ					○
65	アカハラ				○	
66	シロハラ			○		
67	ツグミ		○			
68	ウグイス			○		
69	オオヨシキリ			○		
70	セッカ			○		
71	キビタキ					○
72	オオルリ					○
73	エゾビタキ					○
74	エナガ				○	
75	ヤマガラ				○	
76	シジュウカラ			○		
77	メジロ			○		
78	ホオジロ			○		
79	カシラダカ			○		
80	アオジ		○			
81	オオジュリン			○		
82	カワラヒワ		○			
83	ベニマシコ				○	
84	シメ			○		
85	スズメ	○				
86	ムクドリ	○				
87	カケス				○	
88	オナガ			○		
89	ハシボソカラス	○				
90	ハシブトカラス	○				

2007 年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2007年9月17日 9:35～11:40

場所：さいたま市 大久保農耕地

天候：晴れ

当日の東日本は、日本の東にある高気圧に覆われ、30℃を超える真夏日となりました。また、3連休でしたが支部会員22名の協力が得られました。ご苦労様でした。

台風が通過した後だったので、ある程度田んぼは湿っていましたが、ムナグロは8羽しか観察されませんでした。しかし、タ

シギが15羽観察され、鳥種・個体数は6種40羽となりました。また、秋の調査では、16年ぶりにタマシギが確認されました。

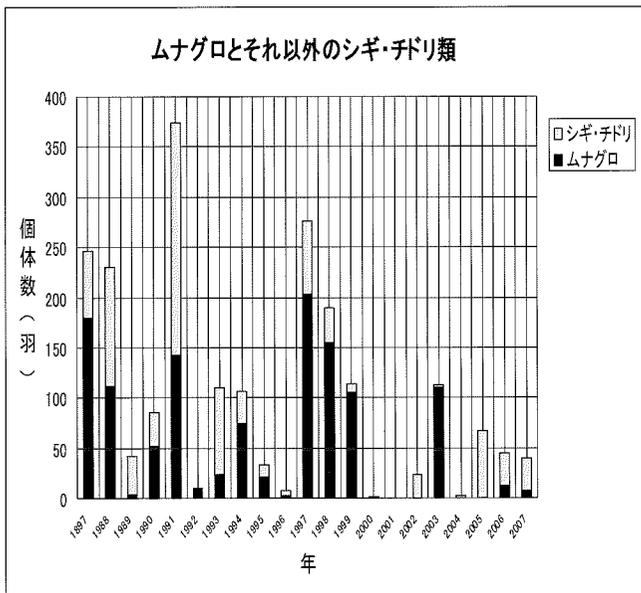
グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は秋のカウント結果をまとめたものです。

(注)種名不明のタシギ属およびシギ類は、種数に入れませんでした。

(石井 智)

秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	合計	
調査日	9/15	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/14	9/13	9/18	9/19	9/18	9/17		
天候	晴れ	曇り	晴れ	雨	雨	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	雨	曇り	晴れ	曇り	曇り	雨、曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ		
1 タマシギ					1																	2	3
2 コチドリ		26						11	1		13												51
3 シロチドリ				2	2																		4
4 ムナグロ	179	112	4	52	142	10	24	74	21	3	203	155	105				110				13	8	1215
5 ケリ		2																					2
6 キョウジョシギ					2																		2
7 トウネン					2		2																4
8 ヒバリシギ		1																					1
9 エリマキシギ											1	2											3
10 アオアシシギ																					5		5
11 クサシギ	1	1			1			1	1	1												3	8
12 タカブシギ	36	15		12	17						4					3				6	1	7	101
13 イソシギ					5		1				1												7
14 ホウロクシギ													1										1
15 コシャクシギ												6											6
16 タシギ	29	72	38	20	185		80	19	11	1	51	24	6			17	3	1	60	23	15	655	
17 オオジシギ										2				1									5
タシギ属	2	1			8			2			1	2	1			3					2	2	24
18 アカエリヒアシギ*					9																		9
チドリ類											1												1
シギ類													1					1	1			1	4
合計	247	230	42	86	374	10	107	107	33	7	275	189	114	1	0	23	113	2	67	44	40	2111	



シラコバト調査実地研修

期日：3月22日(土)

集合：午前10時15分、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟。

交通：東武伊勢崎線せんげん台駅東口下車、茨城急行バス③番松伏町役場行き9:47発で、「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：小荷田、橋口

雨天決行。参加費無料。シラコバト調査に参加してみたい方、お集まりください。調査初めての方も歓迎です。



野鳥情報

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇10月11日、キビタキ♀3羽、センダイムシクイ?1羽、元荒川でマガモ♂2羽♀1羽、コガモ10羽。10月15日、元荒川岸でコチドリとイカルチドリ並ぶ。カケスの飛翔。ジョウビタキ♂1羽、初認。10月16日、トケン類(編集部註)1羽、ヒタキ類の声、上空を北へアマツバメ10羽+の群れが通過。10月17日、キビタキ♂1羽♀4羽、トケン類2羽、ヒドリガモ30羽、コガモ6羽、カケスの声など。10月18日、上空を飛ばサシバ1羽、チョウゲンボウ2羽、キビタキ♀1羽、ヒタキ類の声、カケスとアオジの声。10月19日、ツツドリをじっくり観察。大きなケムシ大好き。10月20日、開けた木立から金属的な「チンチン」の声、飛んで藪に入ったのを確認したら、クロジ♀1羽♂若鳥1羽+だった。アオジの声、キビタキ♀4羽+、ホオジロ♂1羽、オオタカ若鳥2羽、ノスリ1羽。10月22日、ジョウビタキ♂1羽、カケス2羽、ツツドリ若鳥1羽、トケン類1羽飛翔。アオジ、ホオジロの声、ヤマガラ2羽、「キ、キ、キ…」とオオタカらしき声。10月24日、カケス、アオジ、ウグイス。「クエクエクエ…」の声の主を探したら、灌木にアリスイが2羽いた。10月25日、ハイタカ?が飛び、トケン類も1羽、キビタキ♀2羽が暗い水路の生活排水で水浴び。10月29日、ツツドリ1羽、トケン類1羽、ジョウビタキ♀1羽、シメ。10月30日、ツツドリ1羽が人目

編集部註：現在のカッコウ科を昔はホトトギス科といい、ホトトギスを漢字では「杜鵑」と書きました。この漢字を音読みして、ホトトギス科ではあるけれども種の同定ができない場合、「トケン類」と呼ぶことがありました。現在でも使われることがありますが、正式な分類上の言葉ではありません。今後本欄では、「カッコウ科不明種」と表示します。

なお、広辞苑では、「とけん【杜鵑】ホトトギスの別称」となっています。

を気にせず、緑色のケムシを食べていて、じっくり観察できた。11月1日、クイナの声がしてラッキーと思った瞬間、オオタカが上空を西へ。それにチョウゲンボウが「キキキ…」と鳴きながらスクランブル。ムクノキ周辺でアカハラ、シロハラ、シメの声聞くも、ほとんど姿見えず(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区釣上 ◇10月18日、カラスたちが騒ぐので見上げたら、飛来して高圧鉄塔にとまるハヤブサ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇10月19日、子供の森でコブシの実にやってくるキビタキ♂2羽♀5羽、残念ながらムギマキには会えなかった。他にエゾビタキ1羽、アカゲラ、ウグイスの声など(鈴木紀雄)。

さいたま市桜区芝川 ◇10月22日午後3時30分～4時30分、芝川でシロハラクイナ確認。9月10日前後に小泉氏ご夫妻が見つけれ、その後何回か見回ったが見られず、約40日ぶりにやっとタシギといところを確認。10分位で草むらに隠れる。双眼鏡だけなので定かではないが、上面は黒色、下面は灰白色気味なので若鳥ではないかと思う。30分位して同じ場所に戻って見たが見えない。10mほど離れたところで今度はクイナが出た。結局、芝川沿い300m位の間でシロハラクイナ、クイナ、タシギ3羽、バン8羽、コサギ5羽、ダイサギ、コガモなどを見たことになる(新部泰治)。

渡良瀬遊水地 ◇10月20日、鷹見台からワシタカを探す。チュウヒ3羽+、ミサゴ1羽、ハイタカ1羽、コチョウゲンボウ♀1羽の飛翔。ハイイロチュウヒはまだのよう(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇10月22日、上沼でマガモ♂2羽、キンクロハジロ♀1羽。10月24日、元荒川にかかる宮前橋の街灯の上でセグロカモメ成鳥1羽、今期初認。10月30日、ミズキの実にジョウビタキ♂1羽とヒタキ類1羽。11月4日、上沼の太陽光発電盤浮きの上でオシドリ♂(エクリプス)1羽。その他マガモ♂2羽、オオバン、カルガモ、コガモなど。東埼玉病院内東縁でアカハラ、シメ、アオジ、ウグイス、キビタキ♀など。

カラス100羽以上が大騒ぎしているので、探したらオオタカ若鳥1羽が何か赤い物をつかんで竹林内にとびこんでいった(鈴木紀雄)。

菖蒲町 ◇10月30日、ミヤマガラス300羽土、コクマルガラス淡色型1羽、暗色型5羽+(長嶋宏之)。

菖蒲町下栢間 ◇10月31日、電線や木でミヤマガラス70羽+にコクマルガラス暗色型3羽が混じる(鈴木紀雄)。

菖蒲町小林 ◇10月31日、ニューナイスズメ10羽+確認、数年前よりずいぶん減少。ミヤマガラス約30羽にコクマルガラス暗色型7羽(鈴木紀雄)。

白岡町柴山 ◇10月31日、上空をノスリが舞う(鈴木紀雄)。

白岡町元荒川 ◇11月26日午後3時30分、八幡橋下流周辺でイカルチドリ20羽+、インシギ1羽、タシギ2羽、ハクセキレイ2羽、ユリカモメ2羽、ダイサギ、コサギなど多数。ムクドリの群れ150羽土が田んぼで採餌(長嶋宏之)。

羽生市羽生水郷公園 ◇11月3日、コムミズクがカラスと空中戦、アリスイ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ハイイロチュウヒ♀など36種。11月14日、アリスイが一声鳴いて木にとまった。ジョウビタキ♀2羽がテリトリーの争奪戦をしていた。トモエガモ♂1羽♀1羽。ウグイス、アオジなど41種。12月1日午前10時頃、コハクチョウ1羽、トモエガモ♂1羽、オカヨシガモ5羽土、オオバン多数。チュウヒがカラスにモビングされていた。ヒバリ、ホオジロ、アオジ、オオジュリンなど多数。ミヤマガラス200羽土がカラス柱を作って西の方角に飛び去った(長嶋宏之)。

桶川市鴨川 ◇11月9日午前5時55分から7時10分、下日出谷から上尾市藤波・大宮ゴルフコースを廻って妻と朝のウォーキング途中、多数(8羽)のジョウビタキを確認した。「ヒッヒッ カチカチ」とテレビアンテナや屋根の上で良く鳴いていた。いよいよ沢山やって来たようだ、ジョウビタキは畑や野原よりも民家の近くがお好き。モズ

の「キチキチ」という高鳴きも4ヶ所で聞こえた。ゴルフコースではカケスが「ジャージャー」鳴いていた。まだツグミは渡って来ない(立岩恒久)。

所沢市狭山湖 ◇11月12日午前11時頃、カヌリカイツブリやカモ類を観察していると、アビ科の姿をした水鳥が3羽いるのに気付いた。望遠鏡ではつきり捉えられる距離にいたため、3羽の特徴を確認することができた。偶然居合わせた奥多摩支部の方と相談した結果、1羽は脇腹後方に白い部分があることからオオハム、2羽は背中の白い筋模様からシロエリオオハムと同定した(小林茂)。◇11月18日、オオハム冬羽1羽、シロエリオオハム中間羽1羽と冬羽1羽。11月12日が初認のもよう。内陸の湖に、しかも2種同時に姿を見せるのは珍しい(榎本秀和)。

JR深谷駅付近 ◇11月14日午後6時40分(かなり暗い状況です)、深谷駅近くの川が合流する鉄橋の下でササゴイ1羽、街灯の灯りでササゴイ特有の笹模様が僅かに見えました。盛んに小魚を追う姿を見て野鳥の必死で生きる逞しさに感動しました(毛馬内正幸)。

加須市加須はなさき公園 ◇11月15日、クイタダキ。メジロかと思っていたが良く見たらクイタダキだった(中里裕一)。

吉見町八丁湖 ◇11月18日、午前6時30分、湖周を散歩時アオゲラの声が響き渡る。湖面に張り出た枝先にキセキレイが1羽。林の中で足元から、シロハラがけたたましく鳴きながら飛び立った(長嶋宏之)。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇11月21日、午後3時頃、山田大沼周辺でカルガモ、ヒドリガモに混ざってオカヨシガモ♂2羽、ハシビロガモ♂1羽♀1羽、ホシハジロ♂1羽♀3羽、キンクロハジロ♀2羽。ガビチョウがうるさく鳴いていた(長嶋宏之)。

表紙の写真

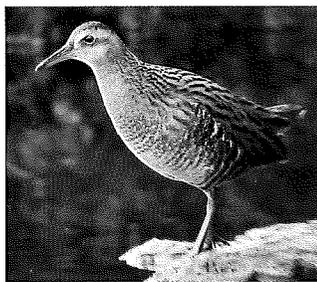
スズメ目モズ科モズ属モズ

春らしい写真を1枚お送りします。

新井 巖(深谷市)



行事案内



見沼自然公園のクイナ(編集部)

3月は鉄道・バスなどの時刻表変更があります。本案内は執筆当時の時刻表に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意をお願いします。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3月2日(日)

集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、吉安、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木

見どころ：3月に入ると鳥たちも旅立ちの準備のためアシや藪の中から出て、人目も気にせず栄養補給に夢中になります。チャンスです。農家の庭先の花や、足元の小さな花にも春の訪れが感じられるでしょう。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月2日(日)

集合：午前9時30分、寄居駅南口駅前広場

交通：秩父鉄道熊谷8:51発、東武東上線小川町9:03発にて、寄居下車。

担当：小池(一)、喜多、井上、後藤、大澤、堀口、鵜飼、岡田

見どころ：ウメが咲き、サクラのつぼみもふくらむ季節、小さな春が待っています。玉淀河原から鉢形城址まで歩きます。河原を歩ける靴でご参加ください。

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3月8日(土)

集合：午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部8:21→久喜8:34→花崎8:41着にて下車、駅から徒歩約10分。またはJR宇都宮線大宮8:01→久喜8:22で東武伊勢崎線に乗り換え。公園までの道順が分からない方も、駅から探鳥スタイルの人と一緒に歩けば大丈夫。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：青木、中里、宮下、四分一、栗原、内田、植平、長谷川、小林(正)

見どころ：渡去前の冬鳥たち、ちょっと早い夏鳥たち、そんな鳥たちとの出会いを期待。トイレも完備している安心コースです。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月9日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:49発に乗車。

担当：大澤、森本、倉崎、中里、後藤、高橋(ふ)、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、島田、千島、鵜飼

見どころ：足元には春の草花が、上空にはオオタカやノスリが舞っているでしょう。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月9日（日）

集合：午前8時15分 JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。

担当：工藤、兼元、浅見、松村、赤堀、金子、舟木、新井(勇)

見どころ：公園の池のカモは目の前まで寄ってきます。カモを知りたい初心者の方は、ぜひ参加ください。オオタカ、クイナ、カワセミも顔を出してくれるかな。

神奈川県・城ヶ島探鳥会

期日：3月15日（土）

集合：午前9時20分、京浜急行三崎口駅改札口付近。集合後、9時33分発の路線バスで現地へ。

交通：京浜急行・特急(品川8:04→横浜8:28→三崎口9:18着)に乗車。品川からお得なワンデーパスがあります。

解散：現地にて午後3時ごろ。

担当：小林(み)、榎本、青木

見どころ：ウミウ、クロサギなど岩礁の鳥と、ウミスズメ類など沖を行く海鳥。

運がよければ、意外な海鳥が…。

ご注意：滑りやすい岩礁を歩きます。軽登山靴など、しっかりした靴でどうぞ。

『しらこぼと』袋づめの会

期日：3月15日（土）午後3時～4時ころ
会場：支部事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月16日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、舟木

見どころ：花々が咲き乱れる見沼田んぼは、冬鳥と夏鳥が交差。本年1月の探鳥会で今まで最多の46種が出現したので、環境の変化の影響が楽しみです。新し

いお仲間を連れておでかけください。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月16日（日）

集合：午前9時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越8:13→坂戸で越生線乗り換え8:42発。または寄居7:53→小川町乗り継ぎ、坂戸8:40着で越生線乗り換え。JR川越線大宮7:34→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、藤掛、高草木、青山、久保田、増尾、志村、高橋(優)、林、藤澤、山田(義)、杉原、持丸

見どころ：カワセミは1994年から連続38回出現の記録を更新中です。昨年の3月はオオタカ、ノスリ、かわいいイタチ君もいました。今年はどうな出会いがあるかな。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月20日（木・祝）

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:18→寄居8:48で長瀨駅下車。

担当：井上、佐久間、小池(一)、青山、大澤、堀口、鶴飼、岡田

見どころ：山頂までの山道を登りながらの鳥見です。遅い春の秩父では、ウメやロウバイ、山頂からの見晴らしも楽しめます。花粉対策にもご留意ください。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月23日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:40発または所沢8:33発に乗車。（ご注意：電車ダイヤが変わりました。）

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、石光、山田(義)、山口、星

見どころ：ツバメやコチドリが渡ってくるころです。陽だまりにはかわいい草花も。ちょっと散歩に来ませんか。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月23日（日）

集合：午前9時30分、県立さきたま史跡の

博物館前レストハウス。

交通：JR 高崎線北上駅北口から、朝日バス
佐間經由行田車庫行き 8:50 発で「産業
道路」下車、徒歩約 15 分。

担当：内藤、岡安、立岩、栗原、高橋(ふ)、
長谷川

見どころ：古墳周辺の発掘も一区切りがつ
いて、穏やかな春の日差しにあふれて
います。見おさめの冬鳥を送りながら、
夏鳥一番にも期待しましょう。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月23日(日)

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐
車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、1番バ
ス乗り場からエローラ行き 8:50 発で
「松伏高校前」下車。

担当：田邊、橋口、植平、榎本(建)、大塚、
吉岡(明)、土澤、野村(弘)、野村(修)、
森下

見どころ：まだ居残っている冬鳥が見られ、
春を待ちわびていたヒバリやホオジロ
などの元気なさえずりも聞かれて、ま
さに「一石二鳥」？

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月29日(土)

集合：午前9時20分、東武日光駅前。集合
後、バスで「総合会館前」まで移動。

交通：東武伊勢崎線春日部7:44発快速東武
日光行き、または栗橋7:55→板倉東洋
大前で8:10発快速に乗り換え、東武日
光9:15着。

解散：午後2時ごろ、日光東照宮にて。

担当：玉井、中里、田中、植平

見どころ：カワガラス、ミソサザイや山の
鳥たちを探しながら歩きます。クマタ
カやカヤクグリが姿を見せてくれたら、
きっと楽しい1日になるでしょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月30日(日)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントラン
ス駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:20→春日部7:35
→栗橋7:55→柳生8:05着。またはJR
宇都宮線大宮7:07→栗橋7:40着で、
東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、
中里、小林(正)、植平

見どころ：焼かれた後の黒いアシ原や疎林
の枝になごりの冬鳥、春一番の小鳥た
ちを見つけましょう。

肝に銘じて対応

内田孝男(茨城県古河市)

私がメインリーダーを担当した渡良瀬
遊水地探鳥会でのことでした。その日は支
部探鳥会とは別の10数人のグループが、抜
きつ抜かれつで行動していました。「何が
出てますか」、「どの辺ですか」と声をかけ
たりしながらなごやかな進行でした。開始
後1時間ほど経過した頃、そのグループが道
路右側から左側の小鳥を見ているのに追
いつきました。私たち探鳥会の先頭は、そ
の人たちの後ろを回って三脚を立てはじ
めました。と、探鳥会後続の人たちが道
路左側を見て「ベニマシコだ!」。何人も
の人たちが、道路中央に三脚を立てまし
た。先のグループの前を遮るほどでもな
いけれど視野の中でベニマシコとの間
に入った形になりました。その時支部会
員の中から「マナー悪いんじゃないの、
先に見てる人がいるよ」と大きな声。
先のグループは何も言わず移動を
始めましたが、どの様に思ったでしょ
う。支部会員の心の中にはどんな印象
が残ったでしょう。

帰宅して、[探鳥会のすすめ方]を読み返
し、「やさしいきもち」の【き】を実践出来
なかった事を反省しました。1つは生じた
事を素早く受け止め、その人たちに「申し
訳ありませんでした」と一言声かけする、
2つは鳥合わせ時に、参加者にもう一度
マナーについて話をする、という事
でした。支部の役員会でも報告し、いろ
いろ話し合っています。これからも続
く探鳥会、肝に銘じて対応したいと思
います。



行事報告

9月17日(月、休) 坂戸市 高麗川

参加：48名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ オオタカ サシバ コジュケイ イカルチドリ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 朝の挨拶で、地元の増尾リーダーから、「イノシシ捕獲の為に、トラバサミがコース周辺数ヶ所に設置してあるので、注意するように」との呼びかけがあった。川角駅からスタート間もなく、モズの高鳴き。オナガが3羽テレビのアンテナに止まっていた。天神橋周辺の木陰から、4羽のコジュケイが飛び立つのを、先頭の人達が観察。城山橋の上からは、中里さんが、遠くに止まっているカワセミを見つけてくれて、セグロセキレイと合わせて連続観察記録更新。暑かった河川コース。城山橋上流の堰周辺の木陰で早めの鳥合わせ中に、サシバ1羽通過。一時中断してお見送り。(藤掛保司)

9月22日(土) タカの渡り調査

ボランティア：14名

新井巖、青山紘一、鶴飼喜雄、榎本秀和、大勝学、澤井清、鈴木敬、後藤康夫、高橋ゆき乃、高橋ルミ子、千島康幸、千野安以、中里裕一、中川敏子

10月20～21日(土～日) 長野県 戸隠高原

参加：26名 天気：20=曇、21=晴

カイツブリ オシドリ マガモ カルガモ コガモ トビ ハイタカ キジバト アオバト アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ シロハラ マミチャジナイ ツグミ ウグイス ムギマキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ イカル シメ ニュウナイスズメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシ

ブトガラス(40種) 週末の天気予報は雨であったが、長野の駅前には青空が広がっていた。標高を上げるにつれて雲が多くなってきたが、雨を覚悟していた我々にとっては最高の探鳥日和である。鏡池の紅葉を期待して、森林植物園の駐車場を後にする。鳥の数が少なく感じられたが、アカゲラ、マミチャジナイ等を観察する。例年よりも紅葉が遅く、木々もまだ緑で鳥も見つけにくい。鏡池の紅葉は素晴らしく、オシドリの群れが見られた。ムギマキは去年のツルマサキの場所で見られた。翌朝は、アルペングリューエン(日の出前の山頂光)に一同感激する。前日のツルマサキに期待通りのムギマキ、きれいな雄成鳥2羽を含めて5羽、その後も数箇所を観察できた。行く先々のコブシの木にはマミチャジナイ。この2種に関しては大満足の探鳥会となった。(菱沼一充)

10月21日(日) さいたま市 三室地区

参加：52名 天気：晴

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ オオバン コチドリ イソシギ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) オオタカ、トビ、チョウゲンボウ、猛禽3種が出現。飛翔する姿は秋晴れの空に溶け込んでいた。田んぼにはヒマワリやコスモスの花畑が広がり、参加者の目を楽しませてくれた。モズが縄張り宣言する鳴声を聞きながら歩いた芝川橋めぐり探鳥会だった。(楠見邦博)

10月21日(日) 川越市 西川越

参加：40名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ ホシハジロ チョウゲンボウ キジ バン イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ コサメビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 水上公園の池で早くもカワセミが出て、ゆっくり見られた。カモ等を見てから林の中でコサメビタキ。暖かい

せいかまだいる。川辺を下りながらサギ、キジ♀
2、バンなどを皆で見られた。(佐久間博文)

10月28日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加：51名 天気：快晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイ
サギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コ
ガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ
ホシハジロ キンクロハジロ ミサゴ トビ オ
オタカ バン イカルチドリ ユリカモメ セグ
ロカモメ キジバト アリスイ コゲラ ヒバリ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ
アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ム
クドリ コクマルガラス ミヤマガラス ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (42種) トライアスロ
ン大会で、中央エントランスは人、人、人…。入
口付近で谷中湖南ブロックを見るとマガモ、ヒド
リガモ、オナガガモ、ハシビロガモ等のなつかし
い顔ぶれやカモメ類。歩きながらポツポツとアオ
ジ、ジョウビタキ、オオジュリンと冬の小鳥たち
の声や姿。北ブロックではカンムリカイツブリも
来ていた。突然後ろの方から「アリスイだ」の声。
全員見られた。鳥合せ時にはオオタカも出現し、
秋の遊水地の、青く広く高い空に満足。

(内田孝男)

10月28日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加：29名 天気：快晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ
カルガモ コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ
コジュケイ キジバト コゲラ ハクセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタ
キ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラ
ヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (25種) 昨日の雨から打って変わ
り快晴となり、スタート前からヒッヒッカカタ
と、姿は見えないけれど聞こえてきた。今回は今
までよりも1週間遅いので、今年は見られるぞと
意気込んだけれど、一向に出てこない。繁ってい
る葉の中から聞こえてくるのは、ヒヨドリの鳴き
声ばかり。鳥影も少なく、あせるばかり。古墳の
池でやっとエクリップスのマガモ、コガモ、ハシ
ビロガモ。初心者の方には識別が困難なほど皆同
じに見える。かなり前から来ているのに衣替えも

始めていないのは何か変だ。オオタカにも招待状
は出しておいたのに姿も見せない。11時を過ぎて
からやっとジョウビタキが出てくれた。綺麗なみ
でひと安心。最後の鳥合わせ場所の池にヒドリガ
モのエクリップス。暦で衣替えをする人もいるけ
れど、カモ類はまだ暑くてその気になっていないの
か？

(内藤義雄)

11月4日(日) 上尾市 丸山公園

参加：32名 天気：快晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ マガモ
カルガモ コガモ オオタカ キジバト カワセ
ミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジ
ョウビタキ ウグイス キクイタダキ ヒガラ
シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ カケス オナガ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (33種) スタート直後
ジョウビタキ・カワセミ・モズが見られたが、何
故か3種とも♀だった。公園の中に進みカラの混
群を見ていたら、キクイタダキがいるとの声。懸
念に探すが見当たらない。見たのはたった2人だ
け。この探鳥会では初記録。紅葉の遅い公園を
出て荒川の土手に上がると定番のオオタカの飛翔
が見られた。冬鳥のシメも確認、セキレイも3種
出て、楽しい探鳥会だったと思う。(大坂幸男)

11月4日(日) 志木市 柳瀬川

参加：53名 天気：晴

カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサ
ギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ チョ
ウゲンボウ キジ イカルチドリ イソシギ キ
ジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
ドリ モズ ジョウビタキ シジュウカラ メジ
ロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ム
クドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33
種) 今年はカモ類の飛来が遅く、富士見橋と高橋
間でほとんど観察できなかったが、柳瀬川左岸の
土手からオオタカ、チョウゲンボウが観察でき、
参加者を喜ばせた。高橋近くの中洲で今シーズン
初めてのタヒバリが現れ、セキレイ類4種が確認
できた。高橋より下流でジョウビタキの♀♀、カ
ワセミ、イカルチドリを参加者全員でゆっくり観
察できた。(持丸順彰)



●行事報告の再訂正

2007 年 8 月 号 行 事 報 告 欄 に 掲 載 さ れ た 同 年 1 月 平 瀧 温 泉 探 鳥 会 の 出 現 鳥 リ ス ト に つ い て 参 加 者 か ら ご 指 摘 を 受 け、2008 年 1 月 号 本 欄 で 訂 正 報 告 致 し ま し た が、そ の 訂 正 も メ イ ン リ ー ダ ー の 勘 違 い で 下 見 時 の 出 現 鳥 が 混 入 し た も の で し た。探 鳥 会 参 加 リ ー ダ ー に 確 認 し、改 め て 訂 正 さ せ て 頂 き ま す。

8 月 号 リ ス ト か ら マ グ ラ ウ ミ ス ズ メ と 重 複 ホ シ ハ ジ ロ の 一 方 を 削 除、ハ シ ジ ロ ア ビ と ホ オ ジ ロ ガ モ を 追 加 し ま す。参 加 者 の 皆 さ ん に は お 手 数 を か け、申 し 訳 あ り ま せ ン で し た。お 詫 び 致 し ま す。今 後 こ の 様 な こ と が な い よ う、リ ー ダ ー 間 で リ ス ト の チ ェ ッ ク を 行 い 掲 載 し た い と 思 い ま す。(メ イ ン リ ー ダ ー 橋 口 長 和)

●さいたま市報の緑区版に連載開始

緑 区 役 所 か ら の 依 頼 を 受 け、本 年 4 月 号 か ら 来 年 3 月 号 ま で の 1 年 間、「緑 区 野 鳥 散 歩(仮 称)」と 題 し て、緑 区 内 の 野 鳥 の 写 真 と 解 説 文 を 掲 載 す る 予 定 で す。解 説 文 は 緑 区 在 住 の 楠 見 邦 博 監 事、写 真 は 海 老 原 美 夫 副 支 部 長 が 担 当 し ま す。

●支部の個人情報取り扱いについて

本 部 会 員 室 か ら、2007 年 12 月 21 日 付 け「支 部 に お け る 個 人 情 報 保 護 に つ い て(依 頼)」と の 文 書 が 届 き ま し た。全 国 の 支 部 に 対 し、個 人 情 報 の 取 り 扱 い に つ い て 注 意 を 促 し、特 に「①本 人 の 承 諾 の な い 支 部 会 員 名 簿 の 配 布 中 止、②本 人 の 承 諾 の な い 支 部 報 へ の 入 会 退 会 者 名 な ど の 記 載 中 止」を 求 め て い ま す。

当 支 部 で は も と も と 会 員 名 簿 の 配 布 も、支 部 報 へ の 掲 載 も し て お り ま せ ン し、役 員 リ ー ダ ー や 会 員 に 関 す る 問 い 合 わ せ を 頂 い た 場 合 も、直

接 情 報 を お 答 え す る こ と は あ り ま せ ン。お 問 い 合 わ せ の 趣 旨 を 確 認 し た 上 で、必 要 に 応 じ て、役 員 リ ー ダ ー・会 員 の 方 が 了 承 し た 場 合 の み、そ ち ら か ら ご 連 絡 す る よ う に 手 配 し ま す。そ の ほ か、探 鳥 会 参 加 者 名 簿 の 取 り 扱 い な ど に も 十 分 注 意 を 払 う よ う、役 員 会 な ど で 話 し 合 っ て い ま す。

●事務局の予定

- 3 月 1 日 (土) 編 集 部・普 及 部・研 究 部 会 議
- 3 月 8 日 (土) 4 月 号 校 正(午 後 4 時 か ら)。
- 3 月 15 日 (土) 袋 づ め の 会(午 後 3 時 か ら)。
- 3 月 16 日 (日) 役 員 会(午 後 4 時 か ら)。

●会員数は

2 月 1 日 現 在 2,246 人 で す。

活動報告

- 1 月 12 日 (土) 2 月 号 校 正 (海 老 原 美 夫・大 坂 幸 男・喜 多 峻 次・藤 掛 保 司・山 田 義 郎)。
- 1 月 18 日 (金) 本 部 の 新 制 度 対 応 検 討 委 員 会 に、海 老 原 美 夫 が 理 事 と し て 出 席。
- 1 月 20 日 (日) 役 員 会 (司 会：楠 見 邦 博、各 部 の 報 告・公 民 館 の 講 師 派 遣 依 頼 に つ い て・そ の 他)。
- 1 月 21 日 (月) 「支 部 報 だ け の 会 員」に 向 け て 2 月 号 を 発 送 (倉 林 宗 太 郎)。

編集後記

仕 事 前 に 職 場 で ち ょ こ っ と BW を 楽 し ん で い ま す。定 時 の 30 分 程 前 に 出 勤 し、急 い で 身 支 度 を 整 え て 歩 き 始 め ま す。春 と 秋 の 渡 り の 時 季 と 冬 の 間 は 特 に 楽 し み で す。こ の 冬 は、ル リ ビ タ キ 早 や キ ク イ タ ダ キ、シ ロ ハ ラ、ア カ ハ ラ、ト ラ ツ グ ミ な ど も 見 ら れ、1 月 中 の 確 認 種 数 は 26。ど う い う 職 場 か っ て？ な い し ょ。(も)

しらこぼと 2008 年 3 月 号 (第 287 号) 定 価 200 円 (会 員 の 購 読 料 は 会 費 に 含 ま れ ま す)
 発 行 人 藤 掛 保 司 編 集 発 行 日 本 野 鳥 の 会 埼 玉 県 支 部 郵 便 振 替 00190-3-121130
 〒330-0064 さ い た ま 市 浦 和 区 岸 町 4 丁 目 26 番 8 号 プ リ ム ロ ー ズ 岸 町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編 集 部 へ の 原 稿 yamabezuku@hotmail.com 野 鳥 情 報 toridayori@hotmail.com
 住 所 変 更 退 会 な ど の 連 絡 先 は 〒141-0031 品 川 区 西 五 反 田 3 丁 目 9 番 23 号 丸 和 ビ ル
 (財) 日 本 野 鳥 の 会 会 員 室 会 員 グ ル ー プ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635
 本 誌 掲 載 記 事 は ホ ー ム ペ ー ジ に 転 載 さ れ る 事 が あ り ま す。本 誌 ま た は ホ ー ム ペ ー ジ か ら の 無 断 転 載 は、か た く お 断 り し ま す。 印刷 関 東 図 書 株 式 会 社